

1701

何處の同じ秋の夕暮

昭和六年十月八日



「アー苦しい」



「困ったナ」



「サテド
した
か
の」



「おた……
お助けを……」



「わり切れぬ」



滿蒙統計

昭和六年十月十五日



満州省の面積と人口

省	面積(方里)	人口
遼寧省	一一、八六九	一五、一五一、六三〇
吉林省	一五、五八〇	九、一九一、九八〇
黒龍江省	三七、七七五	五、二三一、三七〇
熱河省	一〇、一六八	四、五〇〇、〇〇〇
計	七五、三九二	三、四〇、七四、九八〇
関東州	二二四	九三九、二一四
関東州内地之住民数 (滿蒙)		二三一、一一九

重慶都市の人口

市街	人口	居住日本人	市街	人口	居住日本人
大連	三六四、六四五	九六、四二七	旅順	一三〇、九七三	一、二〇、六二
金州	一〇六、九二七	一、七七六	營口	一三九、三八〇	一〇、九八
大石橋	九〇、三四	三五、四八	遼陽	一〇五、五〇九	二、六三四
鞍山	一六、六〇一	六七、九五	本溪湖	一、二二七七	四、八八六
奉天	三五七、四〇七	二、二四八〇	撫順	三六、〇〇三	二、七八二
安東	一四六、七二五	一、二一〇八	開原	七九、八三二	一、七、八九二
鐵嶺	九四、一三	三〇、五七	公主嶺	五〇、二〇〇	二、五九六
四平街	一八四、二二	四、二七	ハルビン	一四、四〇八	二、三〇五
長春	一〇六、一五二	一〇、六〇〇	鄭家屯	四三七、四二六	四、二五三
吉林	一九〇、八九九	一〇、〇三	瀋陽	五二、六〇〇	二、四九
齊、ハル	一八七、二八〇	二、二九	瀋陽里	三〇、六七七	二、一七
琿春	八八、三五九	三、四三	新陽街	一〇、二七五	三、三八
陞平	九六、九一六	二〇、五	新陽街	三五、〇五八	一、六七

1703

日支對決

昭和六年十月十五日

芳沢謙吉



施隆其全



1704

芳沢代表奮闘(問題)

昭和六年十月十六日



「顔張つても
駄目だよ
野郎だ
剛情も
野郎だ」

「多数決だ
往生しろ」

芳沢
廻野
反対
だ

「グツク
言ふ
ふよ」

「屁理屈
はよせ」





1705

聯横車を掃き去る代表重國に臨る
西和六年十月二十四日

日本十三對一
で敗る





1706

英国総選挙成績

昭和六年十月廿九日





1707

暗中の魔手

昭和六年十月一日



1708

日本軍部の意気

昭和六年十一月三日

日本政府





1709

ガンジーと英国皇帝
昭和六年十月五日



1710

聯盟加入国(其二)
昭和六年十月十日



國名	政體	人口(單位)	首府	所在地
エチオピア	帝	一、一五〇〇	アヂス・アベバ	アフリカ
アルバニア	王	一、〇〇〇	チラナ	ヨーロッパ
アルゼンチン	共和	一、一九三	ブエノスアイレス	南米
オーストラリア	英國自治領	六、四三九	カンベラ	大洋洲
オーストリア	共和	六、七〇四	ウィーン	ヨーロッパ
ベルギー	王	一、六五六〇	ブラッセル	ヨーロッパ
ボリツィア	共和	三、四六四	ラバ	南米
イギリス	帝	四七、三〇〇	ロンドン	ヨーロッパ
ブルガリア	王	五、八二五	ソフキア	ヨーロッパ
カナダ	英國自治領	九、八六〇	オタタワ	北米
チリ	共和	四、二〇〇	サンチャゴ	南米
支那	共和	四、五〇〇	南京	アジア
コロンビア	共和	四、二〇〇	ボゴタ	南米
キューバ	共和	三、五七九	ハバナ	西インド
チエコスロヴァキア	共和	一、四、六五七	ブラチダ	ヨーロッパ
デンマルク	王	三、五四二	コペンハーゲン	ヨーロッパ
サント・ドミンゴ	共和	九〇〇	サント・ドミンゴ	西インド
エストニア	共和	一、二一六	タリリン	ヨーロッパ
フィンランド	共和	三、三七〇	ヘルシンギ	ヨーロッパ
フランス	共和	一〇〇、〇〇〇	パリ	ヨーロッパ
ドイツ	共和	六四、二〇四	ベルリン	ヨーロッパ
ギリシア	共和	六、三二〇	アテネ	ヨーロッパ
グアテマラ	共和	二、一七七	グアテマラ	中米
ハイチ	共和	二、五〇〇	ポルト・オプリタンス	西インド
ホンチユラス	共和	八五〇	ナグスカル	中米
ハンガリー	王	八、六四〇	ブダペスト	ヨーロッパ



聯盟加入国(其二)
昭和六年十月十日



インド	英領印度	三二四、八〇〇	デリー	アフガニスタン	アフガニスタン
イラン	英領イラン	二、九四五	ダブリン	イロワバ	イロワバ
イタリヤ	王國	四三、五〇六	ローマ	イロワバ	イロワバ
日本	帝國	九〇、六六〇	東京	アフガニスタン	アフガニスタン
ラトヴィア	共和國	一、九〇〇	リガ	アフガニスタン	アフガニスタン
リベリア	共和國	二、〇〇〇	モンロビア	アフガニスタン	アフガニスタン
リトアニア	共和國	二、三四〇	カウナス	アフガニスタン	アフガニスタン
ルタセンブルグ大公國	大公國	二九五	ルタセンブルグ	アフガニスタン	アフガニスタン
オランダ	王國	六〇、一八八	ハーグ	アフガニスタン	アフガニスタン
ニウ・ジーランド	英領自治領	一、四八六	ウエリントン	アフガニスタン	アフガニスタン
ニカラガア	共和國	七二〇	アナガア	アフガニスタン	アフガニスタン
ノルウェイ	王國	二、八〇三	オスロ	アフガニスタン	アフガニスタン
パナマ	共和國	五〇〇	パナマ	アフガニスタン	アフガニスタン
ペラグアイ	共和國	八八三	アサンション	アフガニスタン	アフガニスタン
ペルシア	王國	九、〇〇〇	テヘラン	アフガニスタン	アフガニスタン
ベルギー	共和國	六、三五〇	ブリッセル	アフガニスタン	アフガニスタン
ボートランド	共和國	三〇、七二七	ワルツ	アフガニスタン	アフガニスタン
ボルトガル	共和國	一四、七六〇	リスボン	アフガニスタン	アフガニスタン
ルーマニア	王國	一七、六〇〇	ブカレスト	アフガニスタン	アフガニスタン
サルヴァドル	共和國	一、七五〇	サンサルバドル	アフガニスタン	アフガニスタン
シリア	王國	一、八一九	ベシク	アフガニスタン	アフガニスタン
南アフリカ	英領自治領	一、八一九	プレトリア	アフガニスタン	アフガニスタン
スペイン	共和國	二二、三九二	マドリッド	アフガニスタン	アフガニスタン
スエーデン	王國	六、二二〇	ストックホルム	アフガニスタン	アフガニスタン
スイス	共和國	四、〇六〇	ベルン	アフガニスタン	アフガニスタン
ウルグアイ	共和國	一、八五〇	モンテビデオ	アフガニスタン	アフガニスタン
ヴェネズエラ	共和國	三、一五七	カラカス	アフガニスタン	アフガニスタン
ユーゴスラヴィア	王國	一四、六五七	ベオグラード	アフガニスタン	アフガニスタン

1712

澁澤榮一翁逝（九十二才）
昭和六年十月十日



具嘗幸與澁
練磨生光澤
成遂有餘榮
福德日本一

1713

皇軍
善戰
一當
千

皇軍黑龍江軍を撃破す

昭和六年十月十八日





馬軍
潰滅

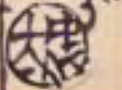
1714

皇軍齊々哈尔城を占領す
昭和六年十一月十八日



1715

安達内相政海に石を投ず
(協力内閣声明)



内相
水は浅い様だ
が距離は
どれ程ある
かしら



昭和六年十一月廿三日

1716

咄 這個破歹漢
昭和六年十二月二十六日

昭
和
六
年
十
二
月
二
十
六
日



1

やい東洋鬼
出て来い

支



2

泥棒!
人殺し!
助けろ
吳北!

支



1717

聯盟理事會持て餘す
昭和六年十二月二日



日本
「おぢさんも分らないふ
だまつて見て居れば
いよいよふいか



聯盟
理事會
「マリック
両方共
替かに
して呉れ

支那
「おぢさん日本が
僕をいぢめるんです

1718

成道難

昭和六年十二月八日



719

大山鳴動鼠一足 聯盟理事会閉会
昭和六年十二月十一日



列国
ヤレク、犬骨を
折らせやがった

「討伐権」
「匪賊」

日「ヤレク」仕事は
こ此からだ

支
地獄で
逢はふ



1720

安達内相若槻内閣を斃死す
昭和六年十二月十一日



禍は
蕭牆の
裡にあり



1721

犬養内閣成る

昭和六年十二月十三日



安達の一石
ぬらひ外れて
野犬にあたる



拓務	鉄道	逓信	高工	農林	文部	司法	海軍	陸軍	大藏	外務	内務
泰	床次	三土	箭田	山本	鳩山	鈴木	大角	荒木	高橋	芳沢	中橋
六〇	六六	六一	五〇	六二	四九	六五	五六	五五	七八		六八

1722

金輸出再禁止(株式暴騰)
昭和六年十二月十五日



高橋

大藏省



米の分布

昭和六年十二月十五日



一粒も無い青森

洪水の東京



1724

蔣介石下野

昭和六年十二月十五日



蔣
「身輕まかつて
一とかせぎだ、
今に見ろ。」

1725

第六十議會會成立

昭和六年十二月二十四日



東犬養毅

身長五尺
体量十一貫
得意ハタキ込



西若槻礼次郎

身長五尺六寸五分
体量十六貫
得意肩ス力シ

1726

米英佛干涉

昭和六年十二月二十五日



三國

錦州を攻めちや

いかん。

聴かふいと

ヒドイ目

子あは
すぞ

仙

日

餘計なお節介だ

貴様お寺の出る幕じやない



英

米

1728

昭和六年畧譜

昭和六年十二月三十日



官公事項

東京工業大學復興建築工事顧問

二月

在野軍人會中央委員會顧問

三月

檢定試験委員被免

三月

檢定試験委員被仰付

四月

志賀重昂墓

(昭和五年一月)

平賀源内墓門及塀

四月

二宮伯耆守レヤム舍利の厨子

五月

岐阜溝畑神社設計

五月

熊後浦佐普光寺毘沙門堂設計

六月

震災記念堂灯笼・香炉・音具足等

十月

大阪阪急ビル内部裝飾繼續

十月

支那建築とその裝飾(啓明會)

三月

支那建築の話(外務省)

三月

福岡市の發展と建築(建築合理化大会)

四月

現代建築をたぐる新思想の葛藤(仙臺會)

五月

仙寺建築の話(大雄山最乗寺を)

八月

紙の起源(紙を關する展覽會)

十月

支那工藝圖鑑編集完了

十二月

伊東忠太建築文献集編集終

本年初より

関係工事

講演

著作



1729

昭和
壬申
昭和七年元日



1730

皇軍錦州城に入る
昭和七年一月二日





173
天竺復た動搖ガシテ三度捕縛
昭和七年一月五日



1732

内閣総辞職。優詔。留任。
昭和七年一月八日—九日

徳

い

ば

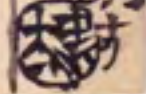
ろ



1733

獨乙賠償金支拂不能を声明

昭和七年八月十日



獨
死ッて
無い袖は
振られネー
ジヤないか

佛
ソシホ
無茶茶ホ
ことがある
もんか





1734

四十年來の暖氣(正午 卒六度)

昭和七年一月十三日



1735

角界紛騷

昭和七年正月十七日



新興力士團三十一名

結束して鬚を切る

(出羽ヶ岳除外)

江戸の名残とふる大鼓。

樽落しの大たぶさ。

切ったその毛は

一味の衆の。

心を結ぶ

方綱。

腐り

果てたる

あの土俵。

二度と踏まぬー

覺悟でござんす。



意地づくと思ひ切つては

さすがに惜しき

たぶさふりけり

1736

議會解散

昭和七年一月二十日

国民党



政府

修練による心境の変化しや
醜態による意狂の變果てはふい



1737

支那對日策を擬議す

昭和七年一月二十三日



甲

「つ国交断絶と
洒落れて見たら
ドーダ

乙

「戦争じや
勝味がよい
からナー

丙

「負けたつて
いいじやないか
ドサクサまぎれ
にイクラか儲け
るのさ

丁

「儲かるかも知れんが
いのちが危ない
からナー

一同

「ア……お互にいのちよりは金じやぶかつたか



1738

上海事件

昭和七年一月廿七日



日
己れ無礼者め



支
マ……待つて呉れ、
あやまるから待つて呉れ、
待つて呉れと言ふのに、

1739

上海修羅の巻とある
昭和七年一月廿九日



支

日

米

日本の

野郎め

アンマリ

威張りくま

一ツトチメて

やろうじやあいか

英

更れやよか

ろろがウツカリ

手は出せあいか

1740

支那都を洛陽に遷す

昭和七年二月一日



周漢帝王

「誰だ?!

安眠を妨害する奴ハ

民国政府

すみません

南京から引越して

来たんで



內地共產海港口岸共管我們白華
噯呀



174

亡國歌(哀調綿々)
昭和七年二月九日



1742

井上準之助暗殺さる

昭和七年二月九日



九日午後八時過ぎ
本郷有町駒本小學校前
にて小沼正の爲に背後より
ピストル三発の射撃を受け
受けて即死す

1743

空家探し(支那の物色)

昭和七年二月十三日



甲 開封は
乙 宋の幽霊
丙 北平は
丁 近所に
明清の
者共が
居るから
駄目だ



列國陸軍々備

昭和七年二月十四日



国名	平時兵力	内訳	団隊数	制度
日本	230,000.		十七師團	徴兵
ソヴェト 聯邦	1,300,000.	正規軍 470,000. 交代部 600,000. 特別軍 230,000.	歩兵 二十九師團 民兵歩兵 四十二ヶ 騎兵 二十一ヶ	徴兵
支那	2,200,000.	中央及各軍團(馮) 正規軍ト認(山ハニモ)	23軍 113師團 38旅團 騎兵(15)機	備兵
米国	320,000.	正規軍 137,000. 護国軍 183,000.	歩兵 91師 騎兵 31師 歩兵 181師 騎兵 4師	志願兵
英国	340,000.	正規軍 209,000. 地方軍 136,000.	{ 英本國 五師團 騎兵十四聯隊 砲兵二十九中隊 }	志願兵
仏国	560,000.	在本國 355,000. 在地方 205,000.	歩兵 20 師團 騎兵 5 "	徴兵
独国	250,000.	正規兵 100,000. 警察隊 150,000.	歩兵 7 師團 騎兵 3 "	志願兵
伊国	350,000.	本國軍 300,000. 殖民地軍 50,000.	歩兵 30 師團	徴兵

1745

支那各軍配置

昭和七年二月十五日



共産匪軍	反蔣軍	蔣介石軍



この外に土匪に似い非正規軍が二十四萬二千と支那特有の非産軍廿四萬四千とがあります

1746

滿蒙新國家建設運動

昭和七年二月十八日



日
シツカリヤル



1747

うるさい米國

矢つき早稲
秋篠を申込む
昭和七年二月十九日



日
いゝ加减して
貰いたい



米
何を?
生意氣な
俺がとわく
かいのか?



1748

滿蒙聯省共和國成立
昭和七年二月二十日



1749

日支真劍勝負

(大日最後通牒を遂げ
三日戦闘を閉く)

昭和七年二月二十日

日
サ一来い、蛆虫めら

支
サ一来い、
狗鼠野郎



1750

総選挙成績(民政惨敗)

昭和七年二月二十三日



合計	中立	革新	社民	労大	民政	政友	党派
四六六	一〇	二	三	二	一四六	三〇三	当選者



1751

聯盟愕然

十二國聯盟理事の對日及ヒールに對する回答

昭和七年二月二十四日

一同
ヤ...大變々々



1752

民國滿州國を否認し討伐を聲明す

昭和七年二月二十五日

支那の生め
たき清くす





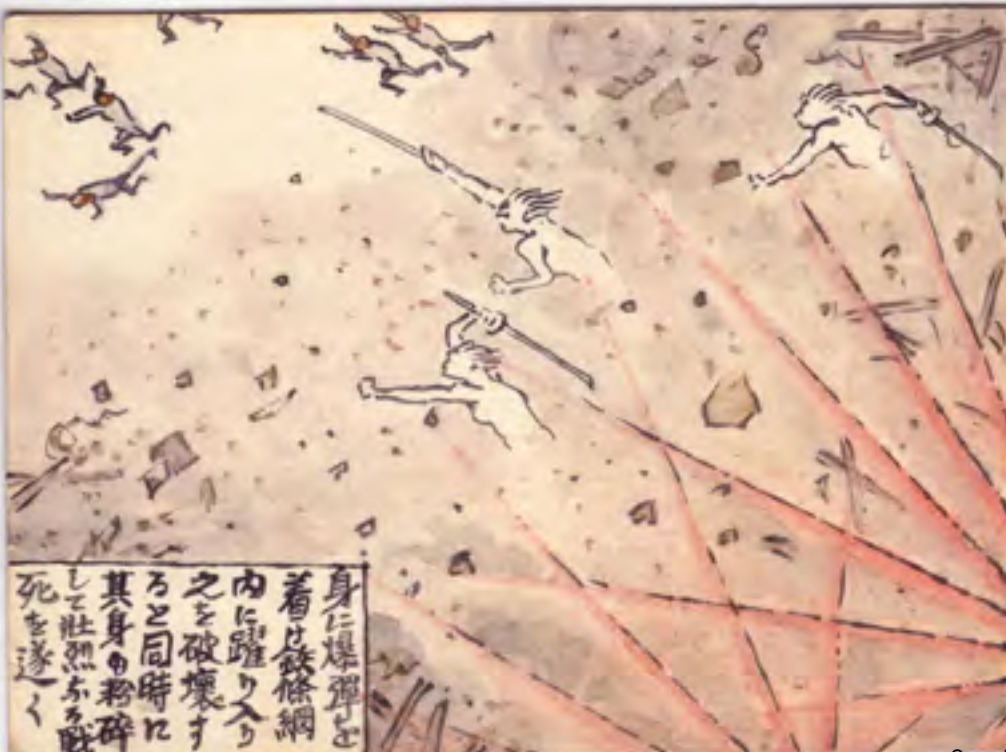
1754

三勇士

江下武二
北川丞
作江伊之助

の壯舉

昭和二年二月二十七日



身に爆弾を
着せ鉄條網
内に躍り入り
之を破壊す
ると同時に
其身も粉砕
して壯烈なる戦
死を遂ぐ

1755

滿洲建國祭

昭和二年三月一日

滿蒙曠野。茲肇新國。
山河始明。蒼生再甦。

大同元年三月一日





北溟有魚
化為大鵬
翼三千里
搏護滄蒙
力壓震旦
氣吞米歐

1756

這是甚麼鳥
昭和七年三月一日



757

上海停戦の機運現はる
昭和七年三月一日



日支那が
神妙に
撤退す
此は...

支那も
撤退し
る



1758

皇軍嘉定を占拠
し、停戦を声明す

昭和七年
三月三日

嘉定

上海へ八里
北蘇州へ十七里

日
廻り足の
早い奴だ



1759

蠻國アメリカ

(リンデー) 子捕事件

昭和七年三月六日



リンデー

「ドーぞその子をお返へし下さい
身のしろ金は
いくらでも差し
上げます」



「人さらい
子供がほしくは
十萬弗出せ」



警察

「人さらい
ナイフ、
早く子供を返
してやつて呉れ
無罪にした上
褒美をやるから」

「早く子供を返
してやつて呉れ
無罪にした上
褒美をやるから」





1760

満州建國式(溥儀執政の位に即く)
昭和七年三月十日



1761

親心(日本と満洲国)

昭和七年三月十日



列国

甲 變な見だね

乙 コトセ不良見さ

丙 日本も苦勞の種

丁だ
チニ、餘計な心配
するは及ばない

満

「二十万
借して
おくれ
よ」

日

満チヤン
いと見だね
早く大き
くおあり
よ



1762

右傾は左傾よりも恐ろし
昭和七年三月十三日



1763

晝夜平分
日出五時五十分
日没五時五十分
昭和七年三月十六日



1765

支那の一生

昭和七年三月廿一日



周漢



二十才
血氣時代

六朝



三十才
邁進時代

唐



四十才
極盛時代

宋



五十才
守成時代

元



五十才
反省時代

明



六十才
偷安時代

清



七十才
老衰時代

現代



八十才
耄狂時代

1766

犬養

俺で

おんちや

国家を

安んず

ることが

出来

おい



第六十二議會終る

昭和七年三月二十五日



1767

虚中の實・實中の虚

昭和七年三月二十九日



日
「ヤ」米君
仲よく
しやうぜ

「米」
「日」君
昔からの
親友じゃ
ふいか



1768

冥土の旅へ

自一月一日 至三月三十一日

昭和七年三月三十一日



(昭和六年三月廿七日)

(全 廿二)

勝島仙之助	石川 兵衛 台	マリ！・シーザー・ポー	別府 兼太郎	池田 桂仙	原田 銅鑊	樋口 鏡次郎	福原 鏡次郎	三宅 やす子	三守 守子	大津 淳一郎	神田 伯山	戸塚 環海	平賀 精次郎	井上 準之助	エドガー・ウーレス	弘津 説三	谷口 直貞	實吉 安純	五里小路通房	團 琢磨	猫造 軒伯知	ブリアン	石井 敬吉	ジュー・イーストマン	吳 秀三	木上 浩躬	水東 宣雄	阪東 宣雄	
七四	九〇	八四	五〇	六九	七八	六五	六五	四三	六七	六七	六一	六五	六五	六四	六七	七九	七五	八五	八六	七五	七七	七七	六七	七八	七六	七六	七六	七五	六五

1770

空閑少佐自殺す

昭和七年四月二日



とこしへに

かはらぬものは

日の本の

ますらたけをの

心ふりけり



二月廿二日江湾鎮の戦に重傷を負ひて敵に捕へら
れ日支捕虜交換子由て帰還せしが、林聯隊長
の四七日忌に當る三月二十八日、聯隊長戦死
の現場を於てピストル自殺を遂ぐ。

1977

誰か能く此の妖怪を退治せし
昭和七年四月四日



1772

世界一の肥大漢
昭和七年四月五日



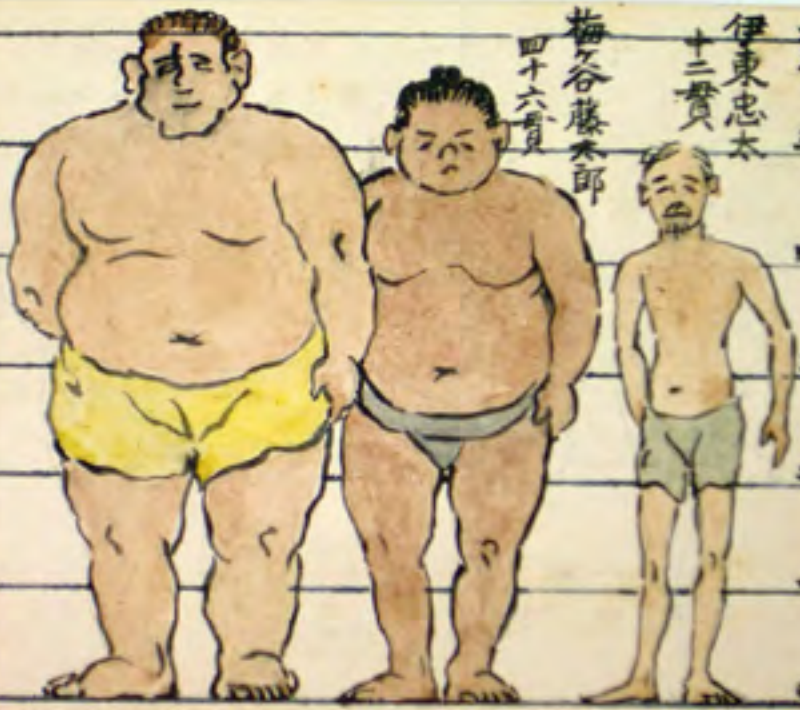
六尺 五 四 三 二 一

伊東忠太

十二貫

梅ヶ谷藤太郎

四十六貫



米國ロースゼルス州の住人ハリレー(二十三才)

身長六呎一吋

体重九十五貫二百廿七匁



1774

満州へ押すかゝる一攫千金
昭和七年四月十日
吉野夢みち



1775

満州顧維鈞の入国を拒絶す
昭和七年四月十日



満州顧
顧ん
畜生、一足
でも踏ん込
んで見ろ、
命は無いぞ

北満州國

視察團
「ヤレ
ヤレ
困った
ことじゃ

顧
「あぢさん
こわいな





1776

男兒門を出づれば七人の敵
昭和七年四月十五日



1776

度し難き支那と聯盟

昭和七年四月十五日

「日
左ッ！」



支那

「日本が無茶を

言つて頑張るんで

ドーにもあらあひ。

ドーが助けておくんふ

さい。



聯盟

「そらが、

それは気の

毒だ、

宜しい日本を叱つてやろう。



1777

怪盜御物を盗竊む

昭和七年四月十五日

帝室博物館所蔵
御物 四十八佛の内
三昧竊まる



軍用飛行機

潜水艦

1778

軍用飛行機と潜水艦数
昭和七年四月十六日

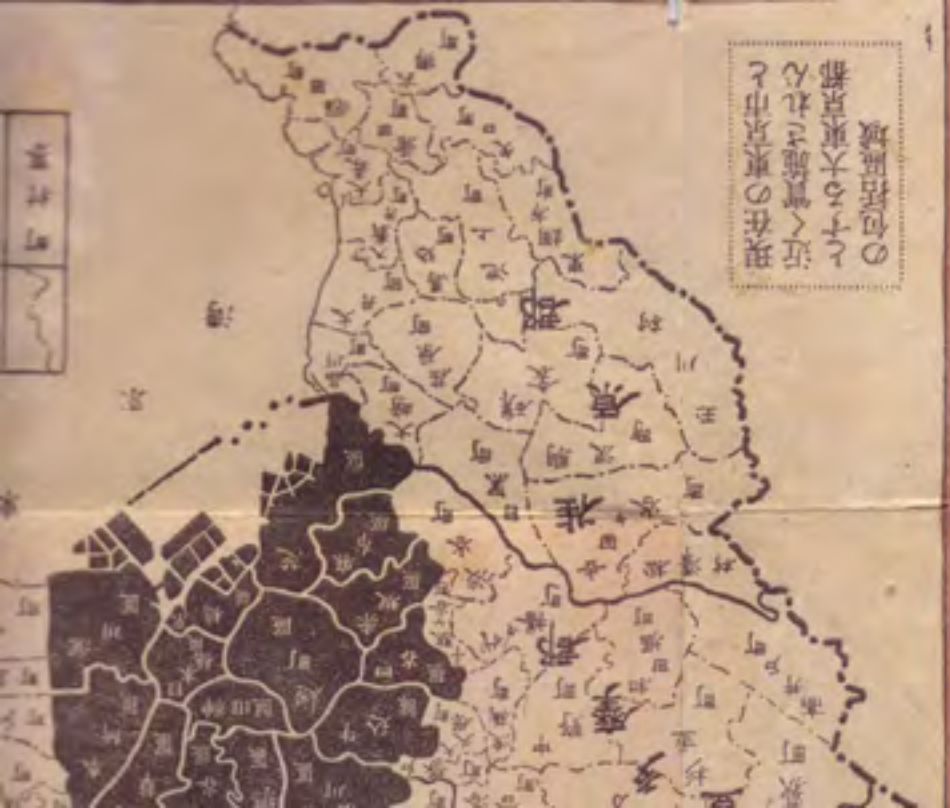
仏	2097	米	81
米	1752	日	67
日	1639	仏	65
伊	1507	英	52
英	1200	伊	46
ソヴェト聯邦	1000	ソヴェト聯邦	16
ルーマニア	799		
ユーゴスラヴィア	627		
ポーランド	700		
チェコスラヴァキア	546		
西班牙	533		





の包括區域
とす大東京都
近く實れんと
現在の東京市と

馬場町



近く実施
する
昭和七年四月十七日

大東京郡区域



現在の東京市と
近く實施されん
とする大東京郡
の包括區域

1780

其東京市郡面積人口
 東京市郡面積人口
 昭和七年四月十七日



一、市郡別面積、世帯、人口、密度調べ

市郡名	面積(坪)	世帯	人口	密度(一萬坪當り)
東京市	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1.00
北豊島郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
豊多摩郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
北豊島郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
南足立郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
南葛飾郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
小笠原郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
北多摩郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
計	10,000,000	10,000,000	10,000,000	1.00

二、市區町村別現住人口表(昭和五年調査)

市郡名	面積(坪)	世帯	人口	密度(一萬坪當り)
東京市	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1.00
北豊島郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
豊多摩郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
北豊島郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
南足立郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
南葛飾郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
小笠原郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
北多摩郡	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1.00
計	10,000,000	10,000,000	10,000,000	1.00

北豊島郡

荏原郡

東京市

1780

一、其
東京市郡面積人口
東京市市区町村人口
昭和七年四月十七日

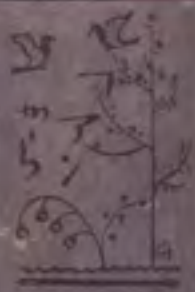


一、市郡別面積、世帯、人口、密度調へ

市郡名	面積(平方町)	世帯	人口	密度(一人あたり)
東京市	1,162.1	1,000,000	1,000,000	856
荏原郡	1,162.1	1,000,000	1,000,000	856
豊多摩郡	1,162.1	1,000,000	1,000,000	856
北足立郡	1,162.1	1,000,000	1,000,000	856
南足立郡	1,162.1	1,000,000	1,000,000	856
小笠原郡	1,162.1	1,000,000	1,000,000	856
北多摩郡	1,162.1	1,000,000	1,000,000	856
計	1,162.1	1,000,000	1,000,000	856

二、市區町村別現住人口表(昭和五年調へ)

東京市 神田区 1,162,100 豊多摩郡 1,162,100 北足立郡 1,162,100 南足立郡 1,162,100 小笠原郡 1,162,100 北多摩郡 1,162,100 計 1,162,100



景品
ネツス

1782

内田満鉄給裁當分留任
昭和七年四月二十日



政府

コリヤ、内田

辞任する気か。

それは結構。

オト、決行

する気か？

マアよく考

へたら
ドーじゃ

内田

人を馬鹿に

するふ！

俺の決心は

穿乎として

動かさないが

.....

軍部

断じて辞任さ

せない刀にかけ

ても貫徹する



1783

勝手が違つた(調査團)

昭和七年四月二十二日



調査團

「夜造りのバラックと思ひの外
コト中々立派なものだ。土足で
踏み込む訳はも行かまい。
チト勝手が違つたワイ



1785

上海春の血煙

昭和七年
四月二十九日

白川大將重光公使村井総領事等重傷



兇漢は米露支辨の一味の徒と認めらる
(河端民團長は終に散死した)



1786

イン子キ學校征伐
昭和七年五月三日



1787

聞いて極樂見て地獄(満州)
昭和七年五月六日



1788

日支停戦交渉成る
昭和七年五月六日



英
御両所共に
御異存は
御坐るまいふ

日
異存は
御座らぬ

支
異存は
あるが
言はせ子一
から言入
ネーヤ



1789

成田をああ！

(リットン謝介石
二騎打問答)

昭和七年五月六日



リットン
シテ又
満州建国は



謝介石
「三千万民衆の意志に由る

1790

蛇と蛙に

昭和七年五月十日



蛇と
蛙に舐められて
安きひままき
この苦しみを
助けてたがや
御僧と
言ふかと
思へば
舌を出し

1791

いざり溥儀さん

昭和七年五月十一日



いざり溥儀さん
満洲に乗せて、
引くやけふけふ
日本国。
あたりの饑鬼めが
邪魔をする、
さぞつらから
うるさがる。



1792

喜劇王天。プリン来る

昭和七年五月十四日



天ア

これ何と云ふ

何といふ

悲劇国

だらう。

新緑の

うらみかふ季節だといふに、
どとみも朗らかふ笑ひ聲が

聞とえふい

成る程俺を歓迎する筈だ



1793

馬が鳥に赤れば

昭和七年五月十五日



驢が
鷹に
赤り
留が
鶴の
赤理
あり



1794

一齊襲撃等(犬養首相重態)
昭和七年五月十五日



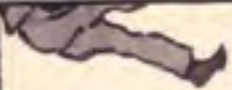
日本国民に
激す日本国民よ
祖国日本を
直視を立て、
直視の日本を
建設せよ
昭和七年五月十五日
陸海軍
青年將校同志



總理大臣官邸



警視廳



日本銀行



内大臣官邸



政友会本部



犬養
ヤ

濱口
ヤ



1795

犬養毅逝く
昭和七年五月十六日



1796

蜜國アメリカの珍チンドン

昭和七年五月十六日



紐育市長

「ビール飲ませて

税を取れ!!

1797

腕の吉三郎政友会総裁とふる

昭和七年五月十八日



鈴木

「俺の腕を見る政友会を引き廻す
位は朝飯前だ。たゞ併し軍部を
……」



1798

西園寺公困る

昭和七年五月二十日



園公
「.....」

丙
政友會
軍獨内
閣が富
然でしやう



甲
「奉国一致内閣を
立てなければなりません」

乙
「強力内閣が宜しいと思ひます」

丁

1799

友政

民政



大命者藤實子に降る
 昭和七年五月二十二日



政狗窺殘肉
 民鼠齧餘菜
 可憫狗鬻徒
 為祖公所賣

1800

齋藤内閣成る

昭和七年五月二十六日



見物
五月内閣が
出来た

詩に曰く。節たる彼の難産、
惟れ医師ガシク。赫々たる斯
員、民俱に滴を晒る。



総理 齋藤實 七五

内務 山本達雄 七七

外務 高橋是清 七九

大藏 小山松吉 六四

司法 鳩山一郎 五〇

文部 三土忠造 六二

鉄道 南 弘 六四

逓信 後藤文史 四九

農林 中島久吉 六二

高工 永井耕太郎 五二

拓務 荒木貞夫 五六

陸軍 岡田 啟介 六五

海軍 柴田 善三郎

